

南信州広域連合第2回広域連合会議 結果報告

日時：令和7年5月19日(水) 14:15～15:30

場所：はにかむべーすA棟201・202会議室

【出席者】14市町村長、副管理者

〔長野県建設部リニア整備推進局〕小池所長

〔南信州地域振興局〕宮島副局長

〔飯田建設事務所〕折井所長

〔飯田保健福祉事務所〕岩本所長

〔株南信州観光公社〕高橋代表取締役社長

〔下伊那郡町村会事務局〕岡庭局長

〔飯田広域消防〕下平消防長、新井消防次長兼総務課専門幹、熊谷消防次長兼総務課長

〔環境センター〕松下事務長

〔事務局〕吉川事務局長・滝沢事務局次長兼総務課長

乾地域医療福祉連携課長兼医療福祉連携係長・壬生広域振興係長

渡邊広域振興係企画調整担当専門主査・熊谷庶務係長・幾島庶務係主事

1 開会…14時15分

2 広域連合長あいさつ

前回の会議から今日までの間、4月28日には文化芸術活動支援センターのオープニングセレモニーを行い、5月1日から利用開始した。これまでの創造館の利用者の皆さんのみならず、新しい利用者、特に若い皆さんにぜひ活用してもらいたい。部活動の地域移行という話題がある中ため、1つの活動場所として活用して欲しい。

5月7日には南信州ナンバーの交付がスタートした。安曇野ナンバーに比べると事前予約の件数が少ないという報道があった。ナンバー交付の際は、デザイン入りのナンバーに親しみを持ち、選んでもらえるよう、取り組んで行きたい。飯田市では、市長車と副市長車、議長車の3台を早速、南信州の図柄入りナンバーの方に変えた。各町村においても、機会を捉えてナンバーの交換をして欲しい。

5月23日には第1回の広域連合議会臨時会がある。今回、飯田市議会のメンバーが大きく変わった。広域連合議会の議員も大きく変わる。各町村でも、申し合わせ任期による交代もあると聞いているので、フレッシュなメンバーで広域連合議会がスタートする。新たな気持ちで臨んでもらいたい。

本会議の後に県議会の皆さんとの意見交換があるため、色々な諸課題について発言をして欲しい。

3 協議・報告事項

(1) リニア中央新幹線について

ア 県リニア整備推進局から【南信州地域振興局 宮島副局長 代理説明】～資料No.1～各市町村の進捗状況の説明を行う。

4月17日に松川町で対策委員会を開催した。町から町道やほ場整備の説明、JR東海から工事進捗状況等について説明がされた。

4月23、24、26日には飯田市上郷地区を対象とした長野県駅新設にかかる説明会が行われた。JR東海から土曽川橋りょう活用等について説明が行われた。

5月12日には伊那山地トンネル戸中工区と坂島工区の貫通式が行われ、翌日13日にはメディア向けの公開が行われた。リニア本線のトンネル工事で隣接する区間が繋がるのは今回が初めてとなる。

今後の予定では5月20日には豊丘村リニア対策委員会が開催され、21日には豊丘村で要対策土の活用に

関する説明会を予定している。また、5月末にリニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会が東京で開催される。東京名古屋間の早期整備及び開業時期の明確化並びに駅周辺のまちづくり事業への支援、協力等の要望事項が決議され、総会後に国に対し要望が行われる予定である。長野県としても、早期全線整備と新たな長野県駅の活性化を要望していく予定。詳細は近々にプレスリリースを行う予定。

イ JR東海中央新幹線長野工事事務所から（小池所長）

豊丘村において、戸中工区と坂島工区の境界掘削が完了した。隣接する工区において、本線トンネル同士が貫通するのは、山梨リニア実験を除いて、中央新幹線工事で初めてとなる。

飯田市では、長野県駅新設に係る説明会を3日間行い、長野県駅新設にかかる工事説明、進捗状況、土管川橋りょう工事の発生土活用について説明を行った。

これまで土管川橋りょうと、竜水一貫水路、道路の付け替え等の工事をして来た。5月14日から駅中央部の高架橋区間の工事に着手した。場所としては、県道市場桜町線よりすぐ東側の箇所、ドーム壁の設置工事に着手している。

松川町では、リニア中央新幹線建設工事対策委員会を4月17日に開催した。対策委員会において、大鹿村の工事の進捗状況、運搬車両の運行状況等について説明をした。

その他として、5月5日大鹿村でツアーオブジャパン綿半信州飯田ステージプレイベント 大鹿村大西グランプリへ協力し、参加者の案内、誘導やコースの清掃等を行った。

(2) 令和7年南信州広域連合議会第1回臨時会、全員協議会について【滝沢次長】～資料No. 3、3-2～

開催日時：令和7年5月23日（金）午前10時開会

場所：エスバード

付議事件：6件（報告2件、条例案件1件、一般案件1件、予算案件1件、議会提出案件1件）

議会日程：（日程1）会議成立宣言

（日程2）議員辞職許可報告

（日程3）仮議席の決定

（日程4）議長選挙

（日程5）議席の指定

（日程6）常任委員及び議会運営委員の選任

総務産業委員の選任

医療福祉委員の選任

消防環境委員の選任

議会運営委員の選任

（日程7）会期の決定

（日程8）議案説明者出席要請報告

（日程9）会議録署名議員指名

（日程10）広域連合長挨拶

（日程11）監査報告

（日程12）仮議長選任の委任

（日程13）報告

報告1号 専決処分の承認を求めることについて（令和6年度南信州広域連合飯田
広域消防特別会計補正予算（第4号））

報告2号 専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）

（日程14）議案審議

条例案件

議案12号 南信州広域連合使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について

一般案件

議案 13 号 財産の取得について

予算案件

議案 14 号 令和 7 年度南信州広域連合一般会計補正予算（第 1 号）案

議会提出議案

発委第 1 号 南信州広域連合議会個人情報の穂木に関する条例の一部を改正する条例の制定について

→質疑等なし

(3) (株) 南信州観光公社の運営状況について【高橋代表取締役社長】～資料 No. 2、2-2～

【令和 6 年度広域観光リニアプロジェクト推進事業報告】

ア 新型コロナウイルス感染収束に伴う観光需要に対応した企画

イ 先進地視察

ウ リニアプロジェクト・市町村観光コンテンツ開発・ツアー化事業

エ リニアプロジェクト・インバウンド誘致（海外誘客事業）

オ リニアプロジェクト・地産地消の取組 まちの八百屋システム構築事業

カ リニアプロジェクト・観光人材育成事業

キ リニアプロジェクト・既存観光拠点施設の再生

地域一体となった観光地観光産業再生交付価値化事業の第 4 次公募に合計 16 施設通った。

各施設、自治体が協力して取り組んだということが特質すべき活動かと思っている。

ク リニアプロジェクト・山岳文化伝統の取組（新しい赤石山脈エコ登山の提案）

ケ リニアプロジェクト・2 次交通対策（南信州広域連合公共交通ベストミックスプロジェクトとの協働）

コ リニアプロジェクト・観光施設再生（マネジメント・コンサルティング）

サ Airbnb Japan パートナーシップ連携協定による農泊高付加価値化事業

シ 南信州・上伊那・木曾連携事業（リニアバレー構想に基づく）

ス 営業戦略チームの活動

セ 南信州キャンペーン事業

ソ 天竜川中流域観光戦略事業

【令和 7 年度広域観光リニアプロジェクト推進事業計画】

ア 新たな観光需要に対応した企画

イ 先進地視察

ウ リニアプロジェクト・南信州の冬のキャンペーン推進事業

全国的な課題でもあるが、冬季のスキーリゾート以外の観光地の客足が落ちてしまっている。南信州地域はその傾向が顕著である。南信州に多くの人を呼べるように取り組んで行く。

エ リニアプロジェクト・インバウンド誘致（海外誘客事業）

オ リニアプロジェクト・地産地消の取組 まちの八百屋システム構築事業

カ リニアプロジェクト・観光人材育成事業

キ リニアプロジェクト・既存観光拠点施設の再生

ク リニアプロジェクト・山岳文化伝統の取組（新しい赤石山脈エコ登山の提案）

ケ リニアプロジェクト・2 次交通対策（南信州広域連合公共交通ベストミックスプロジェクトとの協働）

コ リニアプロジェクト・観光施設再生（マネジメント・コンサルティング）

サ Airbnb Japan パートナーシップ連携協定による農泊高付加価値化事業

シ 南信州・上伊那・木曾連携事業（リニアバレー構想に基づく）

- ス 営業戦略チームの活動
- セ 天竜川中流域観光戦略事業
- ソ 南信州観光公社設立二十五周年記念事業
- タ 宿泊税活用に向けた取組の始動

令和8年6月から宿泊税が導入される。広域連携し、どのように活用していくか検討するプロジェクトを立ち上げる。

(主な意見等)

大鹿村：5月に行った大鹿歌舞伎の公演に合わせたツアーを開催してもらい、都市圏から30名程の参加があった。大鹿村だけでは宿泊施設が足りず近隣の宿泊施設も利用させてもらえたことで、多くの参加者を集めツアーが成功したことに感謝している。

今後宿泊税の活用について研究意見の共有をお願いしたい。

連合長：広域連合から1,000万円を越える大きな負担を行っているため、その成果については常に報告いただきたい。

インバウンド誘致、観光人材育成事業、南信州リゾートの詳しい報告をお願いしたい。

高橋社長：インバウンド誘致に関して、誘客のルートの設定を行った。海外誘客専門の会社にコンテンツ商品として提示いただき、モニターツアーではなくて、実際の商品として水引体験、和船下りを中心に複数申し込みがされた。

観光人材育成事業では、Green Destinations TOP100 選への取り組みを行った。令和7年2月に審査が行われた。審査の際の感触は非常に良かった。この地域の体験型観光の浸透度に対して感銘をいただけたと思う。審査の評価については令和7年9月に発表される。

南信州リゾートに関して、和船下りについて料金の値上げを行った。どの程度影響が出ている検証したところゴールデンウィークで昨年度より利用客が2割程度減っている状況である。団体の利用がかなり減ったことが大きいと考え、今年度は営業活動をしっかり行いたい。教育旅行のラフティングは、順調に数字を伸ばしている。

連合長：長年教育旅行を中心に団体ツアーの誘客を行っている中、個人客の誘客へも展開することが重要だと思う。特にインバウンドに関しては情報発信が足りていないことが課題である。ぜひ今までの取組みに加えて情報発信の強化を要望する。

(4) 看護師等確保対策修学資金について【乾課長】～資料No. 4～

ア 令和7年度応募状況 17人（過去2番目に多い応募）

イ 選考審査会

日時 令和7年5月23日(金) 19時00分から

場所 広域連合事務センター

選考委員 10名(医療福祉専門部会員、副管理者、医師会、包括医療協議会、看護協会、事務局)

※そのほか、制度の現況及び今後の日程について資料を基に説明がなされた。

(主な意見等)

松川町：医師不足と聞く中、医師についてこのような制度はあるのか。

乾課長：医学生が地元へ戻ってくるかが問題であるため、地域医療アドバイザーの松岡先生から「医学生の集い」を令和7年度に開催すると聞いている。奨学金の制度が良いのかここでは判断できかねる。

岩本所長：県では奨学金をもらった医師の派遣では、市立病院へ9名、阿南病院へ6名派遣している。市町村で修学資金を仮に出したとしても、結局は医局へ入り、医局の人事で動くため、難しい状況である。現状の県からの出資が間違いない制度であると思う。

松川町：研修医ですらなかなか来てもらえない難しい状況、県の制度で上手に医師の配置をお願いしたい。

岩本所長：県も10圏域を見ながら行っているためかなり難しい状況である。

連合長：研修医が修学基金を借りたから地元就職したいとはならないため、検討結果として修学資金のような制度は行っていないと思う。

(5) 介護のしごと相談会の開催について【乾課長】～資料No. 5、5-2、5-3～

令和5年度から開始し、年2回開催している。今回で通算5回目となる。実績として出展事業所数は20～25、来場者数は20～30人である。

今年度から障がい者の介護に係る仕事も対象としている。

開催日時：令和7年6月28日(土)①10:00～12:00 ②13:00～15:00

場 所：エス・バード A棟2階ホール

→質疑等なし

(6) 医療的ケア児等コーディネーターの取組み状況報告について【乾課長】～資料No. 6～

昨年度開始した医療的ケア児等総合支援事業の実績報告

- ・医療的ケア児等コーディネーター2名を、飯田市こども発達センターひまわりへ配置
- ・医療的ケア児等の実態把握と台帳整備
- ・家族支援
- ・関係機関との連携
- ・協議の場の設置等
- ・災害対策、個別避難計画

切れ目ない相談体制が必要となれている。今年度は基幹相談支援センター設置に向けて検討を進めて行く。

→質疑等なし

(7) 地域医療アドバイザーの取組み状況報告について【乾課長】～資料No. 7～

南信州圏域の地域医療の課題に対処し、専門的、かつ、実践的な立場からの助言及び提案を得ること、南信州圏域での重要な地域医療の課題に関し、大局的見地からの助言及び提案を得ることを目的として、昨年度から設置をした。

アドバイザー：松岡 裕之（医師、元飯田保健所長）

委嘱期間：令和6年6月1日～令和7年5月31日

活動内容：検討会議の実施

関係会議、意見交換

情報発信

令和7年度も継続して委嘱したい。

→質疑等なし

(8) 桐林クリーンセンターの解体工事の状況について【松下事務長】～資料No. 8、8-2～

ア アスベストの除去作業

令和7年5月中に完了となる。

イ 空気漏れ防止対策として、進入口に開閉式ゲートを設置

ウ 作業員の安全確保のために負圧機を増設

エ ごみピット地上部の解体

令和7年11月完了予定

オ 桐林区会の見地確認
令和7年2月21日に実施

→質疑等なし

- (9) 稲葉クリーンセンターの運行状況について【松下事務長】～資料No.9、9-2、9-3、9-4～
6年度の運行状況について説明がなされた。

ごみ搬入量：前年度対比99.11%、量にして251.26トンの減少。

初めて、28,000トンを下回ったが、開設当時の計画値としては高い数値となっている。

売電相当収益：前年度対比99.1%、金額にして879,833円減少。

搬入台数：前年度対比105.36%、台数にして2,847台増加。年度合計55,960台、1日平均217.7台。

地域住民の直接搬入の認知が広がったこと及び委託収集業者への過積載防止に係る指導を行ったことによるものと考えられる。

→質疑等なし

- (10) 飯田広域消防から【熊谷次長】～資料No.10～

ア 高森消防署庁舎新築工事の進捗について

- ・基礎打工事及び配筋工事が完了
 - ・5月7日から基礎の型枠工事開始
 - ・5月中には基礎コンクリート打設開始予定
- 竣工予定は令和8年1月中旬

イ 共同指令センターの運用に係る進捗について

- ・4月25日事業者が決定
指令システム：NECネットアイ株式会社甲信支店
建築工事：神稲建設株式会社
電気工事：新井電気工事株式会社
機械設備：株式会社シノダ設備
- ・5月1日から工事着手
- ・令和8年1月から2月頃仮運用開始予定

→質疑等なし

- (11) その他

後援依頼について【熊谷庶務係長】～資料No.11、11-2、11-3、11-4～

事業名：令和7年度 地域資源を掛け合わせた魅力のある新商品・新サービスの創出支援事業

趣 旨：南信州地域に多数存在する地域資源について、産業の立場からより一層の活用を図るとともに、
産学官民の連携・協働により、地域ブランドの創出や新商品・新サービス等を創出することをに
目的に事業展開を行うもの。

主 催：公益財団法人南信州・飯田産業センター

事業名：第18回 武田信玄狼煙リレー

期 日：令和7年8月30日（土）

主催者：武田信玄狼煙会

事業名：飯田市役所庁舎太陽呼応発電 地域貢献事業 小学生夏休みイベント
期 日：令和7年7月29日（火）～令和7年7月30日（水）
場 所：飯田市鼎公民館
「宇宙冒険隊！～デジタル地球儀で宇宙から地球を見てみよう～」(仮)
主催者：おひさま進歩エネルギー株式会社

事業名：第15回 わたしの「ふる里自慢」絵画コンクール
主催者：綿半ホールディングス株式会社

→異議なし。承認となる。

4 長野県から

(1) 南信州地域振興局【宮島副局長】

元気づくり支援金の選定会議を開催した。応募件数50件であり令和6年度の応募件数に対して多くの方に応募いただくことができた。近日中に決定へ進む。

(主な意見等)

売木村：二次募集はあるのか。

宮島副所長：今のところ予定はしていない。

(2) 飯田建設事務所【折井所長】

地域の皆様の力を借りて事業を進めたいと思っている。

(3) 飯田保健福祉事務所【飯田所長】

百日咳が流行っている。乳児幼児に典型的な咳が出るが、中・高校生くらいになると典型的な症状が出ないため、把握が難しい状況である。

コロナとインフルエンザは、ほぼ終息している。

(主な意見等)

連合長：大人が百日咳に罹患したらどのような症状は出るのか。

飯田所長：一般的な風邪症状で子どもほど咳は出ない。

5 当面の日程について

5月23日（金）10時00分 議会第1回臨時会及び全員協議会
6月17日（火） 広域連合会議（301号会議室（講堂））

6 閉会…15時30分